

6 特別支援学校

(1) 学校数

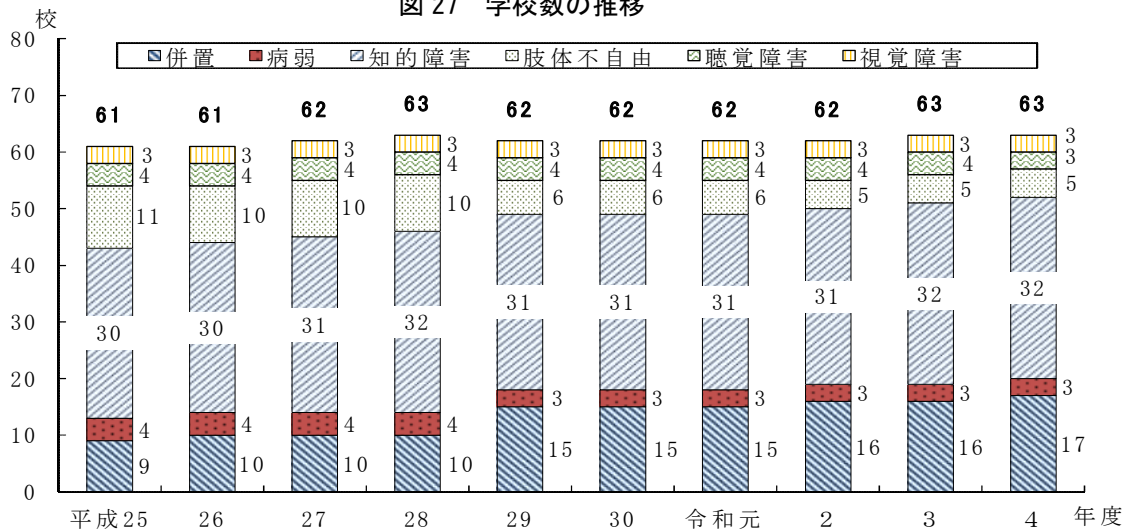
学校数は、63校（都立58校、区立5校）で、前年度と同数である。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は17校（肢体不自由・知的障害併置校10校、肢体不自由・病弱併置校4校、視覚障害・知的障害併置校1校、知的障害・病弱併置校1校、聴覚障害・知的障害併置校1校）となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害3校、聴覚障害3校、肢体不自由5校、知的障害32校、病弱3校となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）

図27 学校数の推移



注1) 区立5校の障害種別は、肢体不自由1校、知的障害1校、病弱3校となっている。
 注2) 併置校は全て都立である。

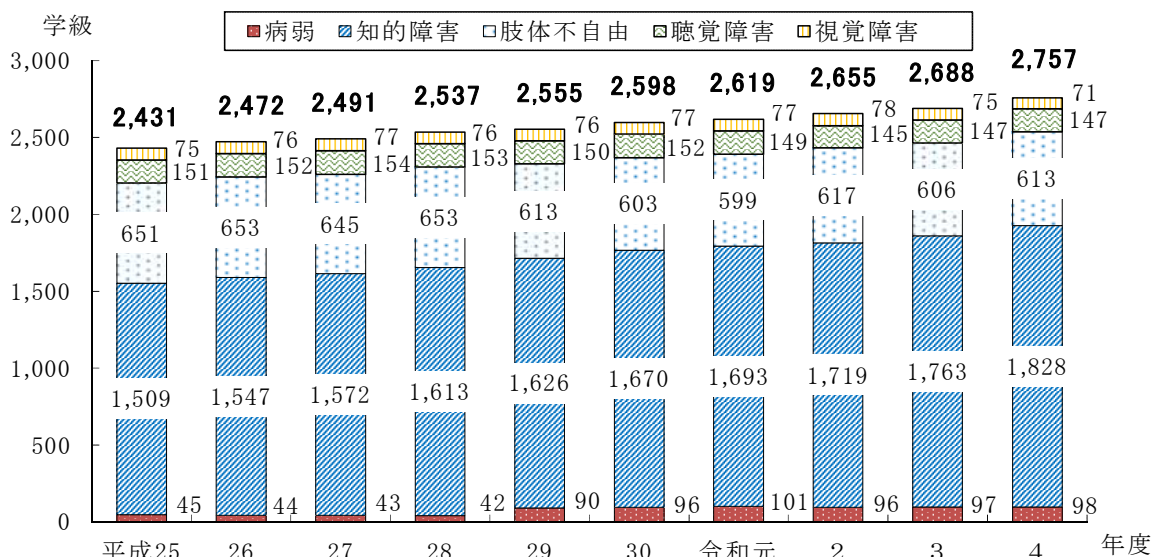
(2) 学級数

学級数は2,757学級で、前年度より69学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害71学級、聴覚障害147学級、肢体不自由613学級（都立600学級、区立13学級）、知的障害1,828学級（都立1,792学級、区立36学級）、病弱98学級（都立88学級、区立10学級）となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）

図28 学級数の推移



(3) 在学者数

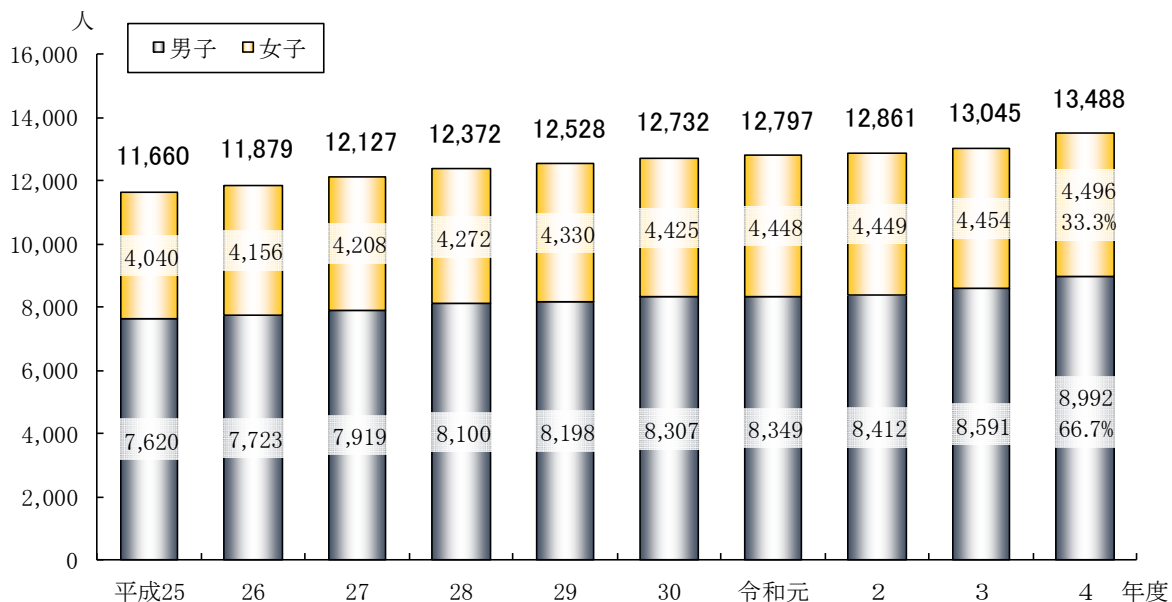
在学者数は13,488人で、前年度より443人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害218人、聴覚障害644人、肢体不自由2,105人（都立2,070人、区立35人）、知的障害10,329人（都立10,171人、区立158人）、病弱192人（都立141人、区立51人）となっている。

男女別で見ると、男子8,992人（構成比66.7%）、女子4,496人（構成比33.3%）で、前年度と比べて、男子の構成比が0.8ポイント増加、女子の構成比が0.8ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第31表）

図29 在学者数及び男女別割合の推移



(4) 教員数

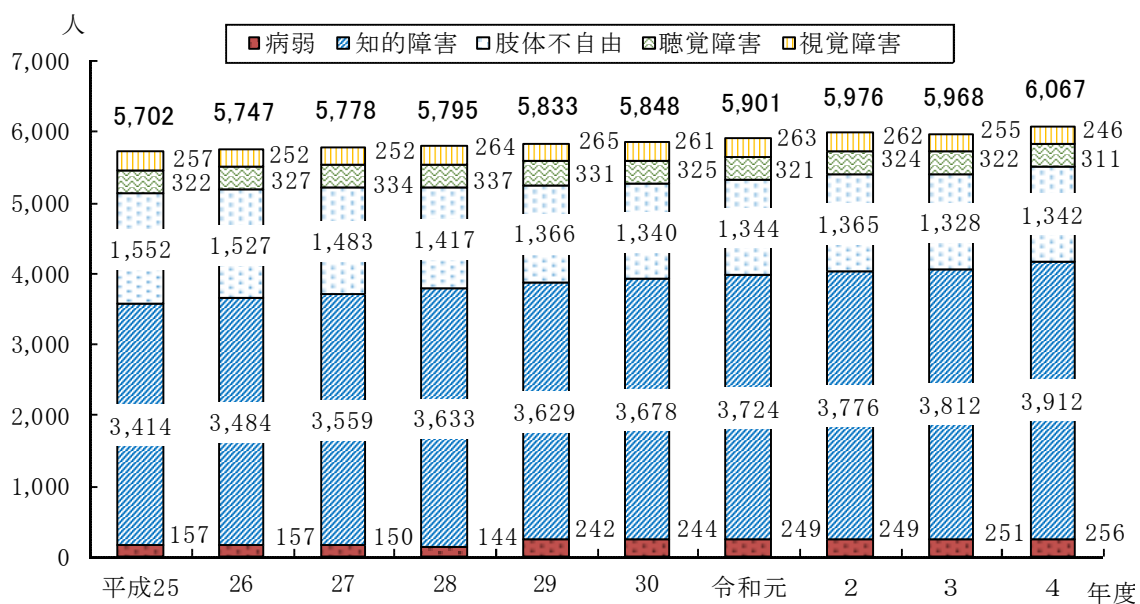
教員数は、6,067人で、前年度より99人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害246人、聴覚障害311人、肢体不自由1,342人（都立1,308人、区立34人）、知的障害3,912人（都立3,844人、区立68人）、病弱256人（都立196人、区立60人）となっている。

男女別で見ると、男性2,349人（構成比38.7%）、女性3,718人（構成比61.3%）で、前年度と比べて、男性の構成比が0.2ポイント減少、女性の構成比が0.2ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第32表）

図30 教員数の推移

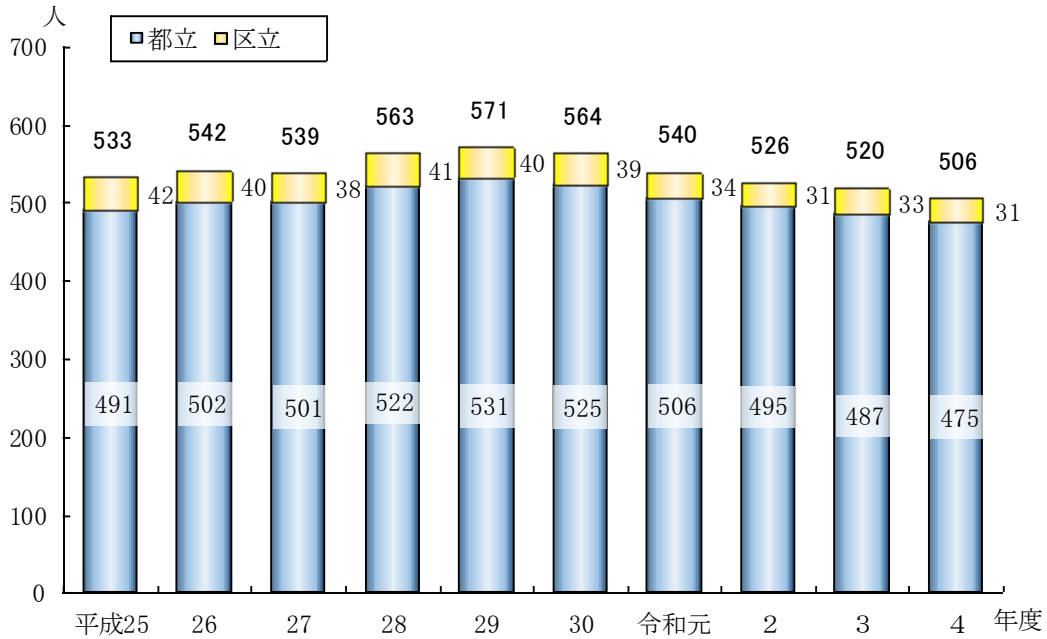


注) 教員数は、臨時的任用教員を含む。

(5) 職員数

職員数は、506人（都立475人、区立31人）で、前年度より14人減少している。
 男女別で見ると、男性235人（構成比46.4%）、女性271人（構成比53.6%）で、前年度と比べて、
 男性の構成比が0.6ポイント増加、女性の構成比が0.6ポイント減少している。
 （Ⅲ統計表 第33表）

図31 職員数の推移



注) 職員数は、臨時的任用職員を含む。

図32 職員の職名別割合

